

---

## ロシア史研ニューズレター

ОБЩЕСТВО ИССЛЕДОВАТЕЛЕЙ ИСТОРИИ РОССИИ

No. 117

April 2020

---

# 2020 年度大会は 11 月 14 日～15 日 会場は岡山大学

## 自由論題・パネル報告募集中



(会場の岡山大学：吉田浩氏撮影)

### 【事務局より】

今年度のロシア史研究会大会は11月14日(土)、15日(日)の二日間、岡山大学津島キャンパスで開催されます。現在、新型コロナウイルスの流行で様々な催しが中止や延期を余儀なくされています。本学会の大会も何らかの変更がある場合はご連絡さしあげますが、その必要がなくなることを祈るばかりです。

共通論題提案は既に締め切られておりますが、自由論題報告・パネルの応募締め切りは4月30日(木)ですので、題目、概要を添えて事務局 巽(tatsumi(at)tufs.ac.jp ※(at)の部分

を@に変えてください)宛にふるってご応募ください。

また、下記のように、ふたつの補助制度を設けています。

<大学院生等に対する大会報告時の交通費補助制度>

例会交通費支給規程を準用し、大学院生等会員の研究活動を資金的に支援するため、遠方の会員(学振研究員を除く大学院生・非常勤)の自由論題報告に対し、交通費実費の片道分(上限有)を補助します。ご希望の方は報告申込のメールに「交通費補助希望」と記入してお送りください。

<託児サービス>

本年度は地方開催のため、会場内託児は設定しませんが、託児補助(自宅などでのシッター利用に対する助成)は例年同様に実施する予定です。追って ML にてアンケートを行いますので、ご回答ください。

**【ICCEES モントリオール大会旅費助成】**

2月29日を締切として募集したICCEES モントリオール大会への旅費助成は、応募者がありませんでした。

なおICCEES モントリオール大会は2021年8月3～8日に延期されました。

**【委員会議題】**

2020年1～3月において、委員会はミーティングを開催せず、メールリストで審議を勧めました。議事は下記のとおりです。

・ICCEES モントリオール大会への旅費助成の規定、審査方法についての審議

**【献本について】**

事務局まで以下の献本がありました。

『1920年代末－1930年代におけるソヴィエト国家の農業政策の地域的民族的特殊性(ウクライナ、カザフスタン、ロシアの諸地域を例に)－コンドラシン教授を迎えて－(2019年9月21日)』早稲田大学ロシア研究所、2019年

**【新会員紹介】**

2020年1月～3月の新入会員(1名)をお知らせします。

松本 祐生子(2020年3月26日入会)  
所属:東京大学大学院  
研究テーマ:戦後スターリン期のソ連社会

【ニュースレター3号を探しています】

委員会では、資料的価値を考慮し、事務局に保管されておらず、国会図書館でも欠号となっている『ロシア史研ニュースレター』（刊行年次1990年2月～現在）のバックナンバーを探しています。現在欠号となっているのは第3号です。お持ちの方は、事務局までご一報ください。

-----  
ロシア史研ニュースレター

第117号 2020年4月10日発行

編集・発行 ロシア史研究会委員会

（河本和子・畔柳千明）

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学 大学院総合国際学研究院

異研究室気付  
-----